

# 中日ニュース

シネスコ版

高知新聞 = 2-2 No. 319  
新愛媛新聞 = 2-2 No. 147  
山口新聞 = 2-2 No. 160

No. 484 38. 4. 26

## 一、吉展ちゃんを捜そう

吉展ちゃんを捜してという悲願もむなしくもう一ヶ月、悲しみに沈む村越家の人たちが吉展ちゃんがつれさられて二十日目の四月十九日、捜査当局は初めてこれまでの捜査経過を発表、事件は、營利誘いかいである断定、捜査上の不手際をみとめ、広く民間の協力をよびかけました。悲しみの村越家では、わが子を思い、不安と緊張につかれています。子供には一番安全であるはずの公園、そこからつれさられたという不幸、殺人よりもにくむべき誘いかい、どこか病んでいる社会です。

犯人は四月二日から不敵にも九回にわたって電話をかけ、捜査当局を手玉にとり、七日には目的をはたしたのです。この七日を最大のチャンスと手ぐすね引いていた捜査陣、だが重なる不手際から、千載のチャンスを手放したのです。

どうして車で現場に行く豊子さんと、徒歩で行く刑事が同時に村越家から出たのか。

どうして豊子さんと犯人の問答をよく確かめられなかったのか。

どうして犯人に渡した一万札五十枚の番号をひかえなかったのか。

ここにすべて、警視庁はじまって以来の失敗だといわれる因があるのです。

そしてニセ札事件につぐ大捜査陣をしき、しらみつぶしの捜査もかいたなく七日以降、犯人はあとをたてしまったのです。

## 一、わんわん一代記

わが輩は犬である。生後二週間、未だ名はないが、血統が将来を輝かしいものにしてくれる。生命保険は人間社会に限ったものではない。この人は犬の保険勧誘員だ。愛犬家を訪問し、飼犬への愛想も忘れぬ。だがこれも、しよせんは人間様の損得勘定での話。犬は全くの問題外。

一方こちらは犬のホテル。人間が団地住まいをしていれば犬の方も団地住いを余儀なくされる。人間の都合一つで、犬の方は邪魔もの扱い。だが、人間の子供の方には紐をつけ、可愛い犬は抱かれています。どっちがどっちなのか皆目わかりません

おしゃれのブードルは美容院通い。度々の美容で、全てトリーマーにおまかせ。額に汗しての大奮闘です。入浴からマニキュアまでのワンコースがざっと五千円。人間様の美容代は及びもつきません。お化粧の後はドレスといくのが順序。デパートには特選売場と並んで、ワンワンコーナーがあります。売行きは上々。既製品で間に合わないときは専門のデザイナーがオーダー・メイドにも応じます。

今日は自慢を競うコンテスト。犬の方の手入れも入念であれば人間様も手鏡前にバックを叩きます。病にたおれた犬には専門のお医者さんがいます。入院設備も完備、人間様なみの診察料を払います。不幸にして死を迎えた犬にはお寺やお墓の用意があります。読経はステレオ装置から、おごそかに流れます。遺族は愛犬の冥福を祈り乍ら涙にくれるのです。

693

370

343